

益田市地域公共交通会議議事録

会議名 令和5年度第1回益田市地域交通会議
開催日時 令和5年7月28日（金） 14時30分から15時20分まで
開催場所 益田市立保健センター 大ホール

1. 議題【市町村運営有償運送における更新登録について】

現在運行を行っている市町村運営有償運送の登録有効期間が令和2年10月1日～令和5年9月30日となっており、3年間の更新登録申請を行うため、交通会議での議題とした。

（1）美都地域外出支援サービス事業（美都地域総務課）【別紙により説明】

利用者数は年々減少し、地域の状況も変化していることから、今後見直しも検討している。まずは現在運行している事業内容での継続更新をしたい。

【質疑応答】

- ・見直しを検討するとのことだが、今後の運行は廃止となるのか。（住民代表）
→路線の利用が減少している原因は、利用者が減少していること、利用内容のハードルが高いことである。次の更新までの3年の期間に利用者のニーズ調査を行いながら事業内容の見直しを検討していきたい。今後廃止になることはないと考えているが、廃止となった場合も代替案を検討していく方針である。

議題（1）について・・・出席者全員の承認を受けた。

（2）益田市匹見過疎バス運行事業（匹見地域総務課）【別紙により説明】

現在5名の運転手で運行を行っている。利用者は減少傾向ではあるが、地域の皆様方に安心して暮らしていただくためにも欠かせない交通手段であるため、継続して運行を行いたい。前回の更新時から事業内容の変更はない。

【質疑応答】

- ・道川線の利用者減少の要因は何か。
→人口減少が大きな要因となっている。また、利用していた方が亡くなられたことや、施設に入られたことも要因である。現状では利用者の高齢化によりドアツードアが求められている。
- ・矢尾線・小原線が4年間で利用者が0人であるが、今年度の見込みはどうか。予約制のデマンド型運行なので会員登録制だと思うが、会員登録者が0人であると運行業務自体が発生しないのではないかと。運行が無くても路線を残すのか。
→過疎バスは会員制ではなく予約制で誰でも利用できるものである。今年度の見通しについて、矢尾地区・小原地区は利用者がいないかもしれない。しかし、住民はいらっしゃり、いつ必要になるか分からないため、単純に利用者がいないので廃止するということは考えていない。また、予約が無ければ燃料費や運転手の業務負担は発生しない。

議題（2）について・・・出席者全員の承認を受けた。

（３）匹見福祉バス運行事業（匹見地域総務課）【別紙により説明】

ここ２年間は利用者がいない。これまで利用していた方が亡くなったこと、施設に入られたことが原因である。今後も道川診療所の開設がある以上は地域の方々の通院手段として継続して運行したい。前回の更新時から事業内容の変更はない。

【質疑応答】

・現在の匹見の状況から今後も利用者がいないことが想定されるが、このバスは必要であると思っている。運輸支局に届け出る際に、利用者がいないということは影響しないものか。（住民代表）

→自家用有償運送ではたとえ利用者が０人であっても、交通会議で皆様に協議していただき必要と判断されれば運輸支局としては何も問題はない。（運輸支局）

議題（３）について・・・出席者全員の承認を受けた。

２．議題（４）【移動円滑化基準適用除外認定申請】【別紙により説明】

この度、第一交通㈱より新たに四輪駆動の車両１台を登録したいとの申し出があったので、交通会議の議題とした。

【質疑応答】なし

議題（４）について・・・出席者全員の承認を受けた。

３．議題（５）【乗合タクシー「栃山・岩倉線」の路線廃止について】【別紙により説明】

昨年度中に住民がいなくなったことに伴い、岩栃自治会が廃止となった。昨年度の交通会議で令和５年度は「栃山ロー岩栃」区間を運行休止することに合意を得ていた。令和６年度以降の「栃山ロー岩栃」区間の運行については廃止としたい。

【質疑応答】なし

議題（５）について・・・出席者全員の承認を受けた。

４．その他

（事務局）公共交通会議の委員の任期が今年度９月末までとなっている。委員の選任について

依頼文を来月中に送付する予定としているので、ご協力をお願いします。